

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
Publication year	2024
Jtitle	日本語と日本語教育 No.52 (2024. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20240300--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔論文〕

「わけだ」と「というわけだ」

- 補文標識「という」の介在— …………… 大 場 美穂子 1
近代におけるノデスカ疑問文の普及 …………… 林 淳 子 19

〔調査報告〕

高頻度複合動詞と中上級レベルの論述文指導に必要な複合動詞

- 22 後項動詞を指標とした BCCWJ「書籍」資料の
調査結果に基づいて— …………… 村 田 年 35

会話の応答におけるメタ言語表現の使用

- 会話展開への言及(2)— …………… 田 中 妙 子 63

初級後半レベルの類義語指導

- 「向上する」と「進歩する」の指導案の検討—
…………… 石 野 由梨子 75

- 同じ英訳の中級漢字教材の語彙調査 …………… 池 田 幸 弘 91

〔授業報告〕

「音声言語理解 7」に意見交換という活動を設けることの意義

- reflection シートの分析を通しての—考察—
…………… 石 塚 京 子 113

〔博士論文要旨〕

日本の『トーニオ・クレガー』再翻訳の時代的変遷

- デジタル分析、関係的翻訳分析を通じて—
…………… ニコル マリオン・ミュラー 133

大学院文学研究科日本語教育学分野修士論文要旨 …………… 157

彙報 …………… 159